

## 平成 21 年 10 月の公社債市場

### ( 1 ) 流通市場

平成 21 年 10 月の 10 年国債の利回り（注 1）は、月中を通じて上昇（価格は下落）傾向を示す展開となった。

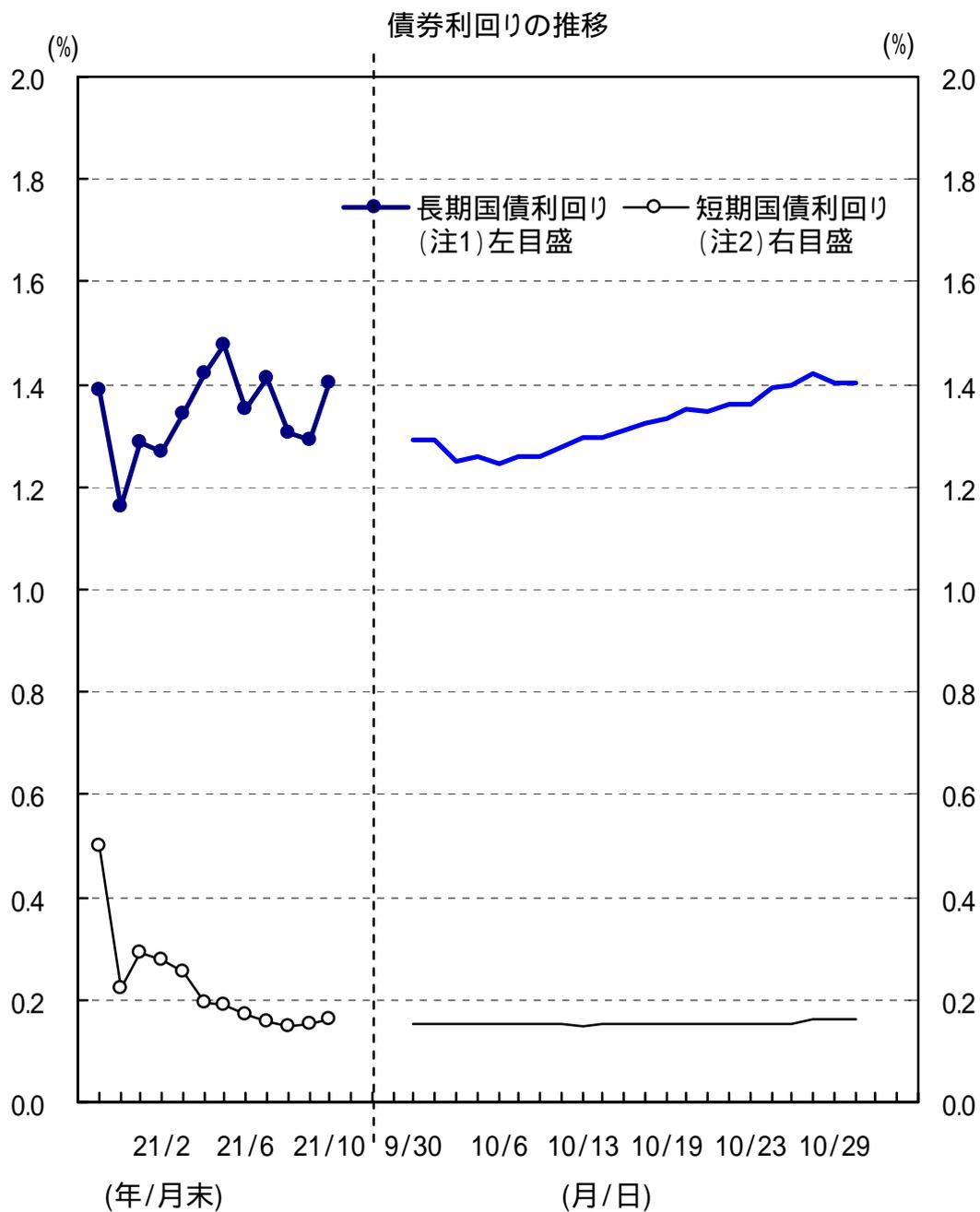
月初は前月末に引き続き、景気の先行きに対する不透明感が依然として強いなか、日米株価の下落や、6 日の 10 年債の入札が需給の底堅さを示す内容であったこと等から利回りは低下（価格は上昇）し、6 日には、1.245%まで低下した。

しかし、その後は株価の回復を背景に利回りは上昇（価格は下落）に転じると、16 日には平成 22 年度予算の各省庁からの概算要求が過去最大規模となることが発表されたことや、平成 21 年度の税収が当初の見積りを下回る 40 兆円以下になる可能性が示唆され、不足分の財源を巡る閣僚の発言等から、国債の増発による需給悪化懸念が強まったことを背景に更なる上昇を続け、28 日には、1.420%と、今年 8 月 13 日以来の 1.4% 台乗せとなった。月末に向けては、利回り上昇が調整局面に入ったことや、30 日には、日本銀行より平成 23 年度までの向こう 3 年間、消費者物価（除く生鮮食品）の上昇率がマイナスとなる見込みであることが発表されたこと等から、利回りはわずかながらも下落に転じたものの、月末時点では、前月比 11.3bp 増の 1.404%となり、月末ベースでは今年 7 月以来の 1.4% 超えとなった。

国庫短期証券の利回り（注 2）は、動意に乏しい中、月中を通じて 0.15%を挟む水準で推移した。月末時点では、前月比 0.6bp 増となる 0.160%となり、2 ヶ月連続の上昇となった。

（注 1）長期国債（10 年）直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

（注 2）国庫短期証券（3 か月）直近発行に係るものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。



(注1) 長期国債(10年)直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値の  
 平均値(単利)。

(注2) 国庫短期証券(3か月)直近発行に係るものの公社債店頭売買参  
 考統計値の平均値(単利)。

## [平成21年10月の主なトピックス]

日付	トピックス
10月2日	東京株式市場 日経平均株価終値 9,731.87 円 前日比 246.77 円の下落。 今年7月23日以来の 9,800 円割れ。
10月6日	財務省 利付国庫債券(10年)(第304回)入札 募入平均利回り 1.257% 応札倍率 3.5 倍 テール(最低落札価格と平均落札価格の差) 1 銭
10月15日	財務省 利付国庫債券(5年)(第86回)入札 募入平均利回り 0.595% 応札倍率 2.17 倍 テール 4 銭
10月16日	財務省 平成22年度予算概算要求の概要発表 平成22年度の各省庁からの概算要求額は、総額 95 兆 380 億円。 平成21年度の当初予算である、88 兆 5,490 億円を約 6 兆 4,900 億円上回り、概算要求額としては過去最高。
10月22日	藤井裕久財務大臣 閣議後会見 平成21年度の税収について、40 兆円割れもあり得るとの見解を示し、税収減には国債増発で対応する旨の発言。
10月29日	7~9月期米国GDP発表 前期比年率換算3.5%増加 2008年4~6月期以来、5四半期ぶりのプラス成長。
	経済産業省 7~9月期鉄鋼業生産統計発表 鉄鋼業生産指数 83.9 前期比7.2%の上昇で、2四半期連続の改善。
10月30日	日本銀行 「経済・物価情勢の展望(展望レポート)」発表 2011年度まで3年連続で消費者物価(除く生鮮食品)の上昇率がマイナスとなる見込み。 白川方明日本銀行総裁 記者会見 「超低金利政策を粘り強く続ける」旨の発言。
	全国消費者物価指数発表 生鮮食品を除く総合指数 100.2 前月比は0.1%の上昇。前年同月比は2.3%の下落。

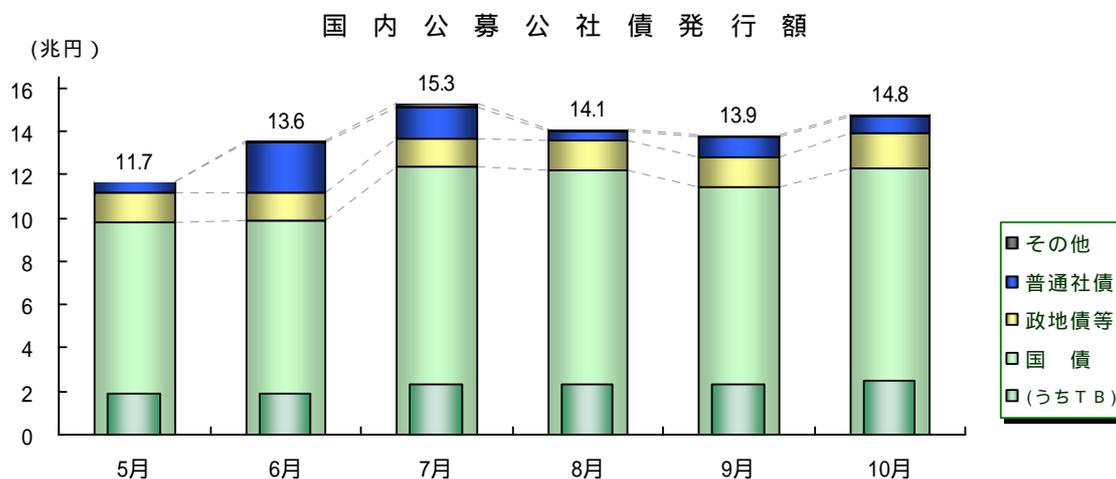
日付	長期国債（注1）		短期国債（注2）	
		参考統計値		参考統計値
9月30日	303回債(発行済)	1.291	60回債	0.154
10月1日		1.290		0.154
2日		1.250		0.154
5日		1.260		0.154
6日	304回債(9日発行)	1.245	61回債	0.155
7日		1.260		0.155
8日		1.260		0.155
9日		1.280		0.155
13日		1.295		0.150
14日		1.295	63回債	0.155
15日		1.310		0.155
16日		1.325		0.155
19日		1.335		0.155
20日		1.350		0.155
21日		1.345	64回債	0.155
22日		1.360		0.155
23日		1.360		0.155
26日		1.395		0.155
27日		1.399		0.155
28日		1.420	65回債	0.160
29日		1.405		0.160
30日		1.404		0.160

（注1）長期国債（10年）直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

（注2）国庫短期証券（3か月）直近発行に係るものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

## (2) 発行市場

平成21年10月の国内公募公社債発行額は、14兆7,880億円となり、前月比9,211億円の増加(6.6%増)となった。



- (注) 1. 国内で発行された公募債のみを対象として集計(払込日ベース)。  
 2. 国債は市中消化分。ただし、郵貯窓販分及び個人向け国債を含む。  
 3. 政地債等は、地方債、政府保証債、財投機関債及び地方公社債の合計。  
 4. その他は、転換社債型新株予約権付社債(CB)、資産担保型社債及び円建外債の合計。

## 国債

・国債の発行額は、12兆2688億円となり、前月比6.8%増の8,328億円の増加となった。

発行額(億円)	平成21年5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月比
国債	97,627	98,818	123,795	122,338	114,360	122,688	8,328
(うち割引短期国債)	(19,000)	(19,000)	(23,000)	(23,000)	(23,000)	(24,499)	(1,500)
(うち個人向け国債)	(0)	(0)	(4,873)	(0)	(0)	(3,104)	(3,104)

(注) 億円未満は四捨五入(以下同じ)

## 地方債、政府保証債及び財投機関債等

・地方公社債の発行額が減少したものの、地方債、政府保証債及び財投機関債の発行額が増加し、合計額としては前月比18.4%増の1兆6,392億円となった。

発行額(億円)	平成21年5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月比
地方債	5,795	5,957	6,380	4,752	6,146	6,332	187
(うち住民参加型)	(80)	(307)	(80)	(252)	(196)	(82)	(113)
政府保証債	3,550	4,800	3,300	5,200	3,200	5,000	1,800
財投機関債	4,527	2,079	3,423	3,112	4,069	4,910	841
地方公社債	150	120	110	0	420	150	270
計	14,022	12,956	13,213	13,064	13,835	16,392	2,558

## 普通社債

- 普通社債の発行額は、前月比 13.1%減の 7,800 億円となった。

発行額 (億円)	平成21年5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月比
普通社債	5,150	22,905	13,890	4,894	8,980	7,800	1,180
(うち 個人向け社債)	(100)	(2,592)	(150)	(3,200)	(750)	(1,830)	(1,080)
電力債	1,300	600	1,500	200	800	1,000	200
一般事業債	1,750	13,682	6,500	1,460	6,270	3,570	2,700
NTT・JR・JT債	400	3,100	500	0	650	0	650
銀行社債	1,700	5,343	5,390	3,234	1,260	3,230	1,970

- (注) 1. 一般事業債には、放送債券及び投資法人債券を含む。  
 2. 普通社債のうち個人向け社債は、個人向けであることを引受証券会社に確認できたもの。

## 円建外債、C B 及び資産担保型社債

- 円建外債は今月は 2 銘柄が発行され、発行額は前月比 494 億円減の 1,000 億円となった。

発行額 (億円)	平成21年5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月比
C B	0	0	0	0	0	0	0
資産担保型社債	0	0	0	0	0	0	0
円建外債	0	930	2,031	1,000	1,494	1,000	494
計	0	930	2,031	1,000	1,494	1,000	494